

新旧対照表（第6次総合計画基本構想）

変更後	現 行
第1章～第2章 （略） 第3章 鹿角市の現状と課題 （1）人口 ～ 少子高齢化・人口減少を見据えた施策を進めるとともに、定住人口の維持_____を図ることが必要 ～ （略） 人口の減少をできるだけゆるやかにするためには、<u>出生率の向上を図るとともに、若年者を中心とした移住を促進し、人口構造の若返りを図る</u> _____必要があります。 （略） （2）産業振興 （略） 【農林業】 （略） <u>また、林業については、林業生産活動が停滞していますが、伐採期を迎える森林の更新と産出される地場産木材の生産を拡大していくことが必要です。</u> （略） 【商業】 高齢化の進展や市街地における利便性の高い生活を求める志向の高まりなどにより、商店街に対する住民の期待は増加するものと見込まれます。時代の変化と消費者ニーズに即したサービスの改善や新たなサービスを提供して商店街の<u>魅力_____</u>を高める必要があります。 【工業】 （略）	第1章～第2章 （略） 第3章 鹿角市の現状と課題 （1）人口 ～ 少子高齢化・人口減少を見据えた施策を進めるとともに、定住人口の維持・<u>拡大</u>を図ることが必要 ～ （略） 人口の減少をできるだけゆるやかにするためには、<u>「定住人口の維持」を図ることが重要であるとともに、新たな人口の呼び込みにより、「定住人口の拡大」を進める</u>必要があります。 （略） （2）産業振興 （略） 【農林業】 （略） （略） 【商業】 高齢化の進展や市街地における利便性の高い生活を求める志向の高まりなどにより、商店街に対する住民の期待は増加するものと見込まれます。時代の変化と消費者ニーズに即したサービスの改善や新たなサービスを提供して商店街の<u>快適性と安全性、信頼性</u>を高める必要があります。 【工業】 （略）

変更後	現 行
3) 福祉・医療 (略) 【福祉・介護】 (略) <u>障がい者</u>や高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、地域の人々が互いに生活を支えあう仕組みづくりが求められています。地域住民のボランティアを主体とした住民参加型の軽作業支援や配食サービス、移送サービス等、それぞれの地域に適した地域福祉の実践を進める必要があります。 【医療・保健】 (略) (4) 都市基盤・生活環境 (略) 【都市基盤】 (略) また、JR 鹿角花輪駅と新町・大町等の商店街周辺を核とする中心市街地は、古くからまちの顔としての役割を担ってきました。しかしながら、市街地の拡大に伴う空洞化が進んでおり、花輪地区商店街における歩行者数が年々減少するなど、中心市街地の賑わいの低下が課題となっています。このため、中心市街地に住む人を増やすための取り組みや、交流が促進されるような市街地の整備など中心市街地の賑わいの再生とコンパクトなまちづくりが必要です。 【生活交通】 誰もが快適に暮らすことのできるまちづくりを推進するうえで、公共交通の確保は不可欠となります。<u>人口減少や車社会の進展を踏まえつつ、賑わいの創出や交流の活性化というまちづくりの観点からも、地域が連携して、地域に必要な</u>	(3) 福祉・医療 (略) 【福祉・介護】 (略) <u>障害者</u>や高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、地域の人々が互いに生活を支えあう仕組みづくりが求められています。地域住民のボランティアを主体とした住民参加型の軽作業支援や配食サービス、移送サービス等、それぞれの地域に適した地域福祉の実践を進める必要があります。 【医療・保健】 (略) (4) 都市基盤・生活環境 (略) 【都市基盤】 (略) また、JR 鹿角花輪駅と新町・大町等の商店街周辺を核とする中心市街地は、古くからまちの顔としての役割を担ってきました。しかしながら、市街地の拡大に伴う空洞化が進んでおり、花輪地区商店街における歩行者数が年々減少するなど、中心市街地の賑わいの低下が課題となっています。このため、中心市街地に住む人を増やすための取り組みや、交流が促進されるような市街地の整備など中心市街地の賑わいの再生_____が必要です。 【生活交通】 誰もが快適に暮らすことのできるまちづくりを推進するうえで、公共交通の確保は不可欠となります。<u>高齢化の進展に応じた生活の足の確保、地球温暖化対策としての二酸化炭素の削減など、将来の方向性を的確に把握したうえで、採算</u>

変更後	現 行
持続可能な公共交通網を整備していくことが必要です。 【地域情報化】 (略) 【防災等】 これまでの豪雨災害を教訓とし、防災計画の見直しや防災用備蓄品の整備など防災体制の充実に努めてきました。しかし、近年の全国的な災害による被害の甚大化により、安全で安心なまちづくりを求める声が大きくなっています。がけ崩れ危険箇所の整備など災害を防ぐ取り組みのほか、市民や関係機関、企業、行政の連携を強化することによって、万が一災害が起こったときでも、財産を保護し被害を最小限にとどめるため対策を講じるなど、災害に強いまちづくりを進める必要があります。 また、日常生活における安全・安心を確保するため、交通安全や増加する空き家の適正管理、消費者保護を進める必要があります。 【環境】 (略) (5) 教育・文化 (略) 【学校教育】 (略) 【社会教育】 (略) 【芸術・文化】 本市においては、芸術文化団体や自主的活動グループ等の文化活動団体が多く、地区文化祭などでは活動発表が盛んですが、活発な活動を行っていくための人材や後継者の減少が課題となっています。芸術・文化活動への参加や芸術・文化に触れる機会を提供することにより、低年齢層から芸術・文化に対する知識と活動に理解を得られるような機会を増や	性だけにとらわれることなく市民の生活交通を確保する対策が必要です。 【地域情報化】 (略) 【防災__】 平成 19 年の豪雨災害を教訓とし、防災計画の見直しや防災用備蓄品の整備など防災体制の充実に努めてきました。しかし、近年の全国的な災害による被害の甚大化により、安全で安心なまちづくりを求める声が大きくなっています。がけ崩れ危険箇所の整備など災害を防ぐ取り組みのほか、市民や関係機関、企業、行政の連携を強化することによって、万が一災害が起こったときでも、財産を保護し被害を最小限にとどめるため対策を講じるなど、災害に強いまちづくりを進める必要があります。 【環境】 (略) (5) 教育・文化 (略) 【学校教育】 (略) 【社会教育】 (略) 【芸術・文化】

変更後	現 行
し、市民が心にゆとりと潤いのある生活を送ることができるような環境整備に努める必要があります。 また、本市は、国の特別史跡に指定され世界遺産の登録を目指している「大湯環状列石」、ユネスコ世界無形遺産に登録されている「大日堂舞楽」などの歴史的な文化遺産を数多く有しています。歴史や文化、風土が育んできた_____有形、無形の文化財は、鹿角らしさを表す_____代表的な地域資源であり、_____こうした大切な財産を守り、継承するとともに、地域づくりや観光資源として活用していくことが重要です。 【スポーツ】 (略) (6) コミュニティ (略) 第4章 まちづくりの基本理念 (略) 第5章 まちづくりの将来像 1. (略) 2. 将来人口 国全体の人口が減少している中、本市の将来人口も平成32年までには3万人を割り込むものと推計されています。 将来都市像の実現を目指すにあたって、人口は重要な条件となります。多様な就業機会の確保や総合的な子育て支援の充実、さらに、住んでいて良かった、住んで良かったと思えるようなふるさとづくりを進めるなど定住・移住施策を積極的に推進し、平成32年において3万人台の人口確保を目標とします。 そして、人づくりと移住・交流によって、少子高齢化が進む中にあっても、地域社会や産業の担い手が活躍する持続的	_____本市は、国の特別史跡に指定され世界遺産の登録を目指している「大湯環状列石」、ユネスコ世界無形遺産に登録されている「大日堂舞楽」などの歴史的な文化遺産を数多く有しています。歴史や文化、風土が育んできた<u>史跡や民俗芸能など</u>有形、無形の文化財は、鹿角らしさという点では代表的な地域資源であり、<u>市民の誇りです</u>。こうした大切な財産を守り・継承するとともに、地域づくりや観光資源として活用していくことが重要です。 【スポーツ】 (略) (6) コミュニティ (略) 第4章 まちづくりの基本理念 (略) 第5章 まちづくりの将来像 1. (略) 2. 将来人口 国全体の人口が減少している中、本市の将来人口も平成32年までには3万人を割り込むものと推計されています。 将来都市像の実現を目指すにあたって、人口は重要な条件となります。多様な就業機会の確保や総合的な子育て支援の充実、さらに、住んでいて良かった_____と思えるようなふるさとづくりを進めるなど定住_____施策を積極的に推進し、平成32年において3万人台の人口確保を目標とします。

変更後	現 行
<u>な地方都市を目指します。</u> 第6章 目指すまちの姿 (略) (1) (略) (2) 誰もが生き生きと笑顔で暮らすまち ～地域の支え合いが実現する社会保障～ 年齢や<u>障がい</u>の有無に関わらず、市民一人ひとりが互いの個性を尊重し、ともに支えあうことができる地域のつながりが実現しています。 (略) (3) ～ (5) (略) 第7章 基本目標・施策大綱 (略) 基本目標1 活力や賑わいを生むまちづくり 1 活力を生む農林業の振興 (略) ほ場整備や農地の集約を進め、農業の生産性を高めるとともに、<u>耕作放棄地の解消や発生防止に努めます。</u> <u>また、森林資源を有効活用するため、地場産材の活用と豊かな森林環境の保全への取り組みを進めます。</u> 2～3 (略) 基本目標2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり 1 笑顔で暮らせる福祉の充実 (略)	第6章 目指すまちの姿 (略) (1) (略) (2) 誰もが生き生きと笑顔で暮らすまち ～地域の支え合いが実現する社会保障～ 年齢や<u>障害</u>の有無に関わらず、市民一人ひとりが互いの個性を尊重し、ともに支えあうことができる地域のつながりが実現しています。 (略) (3) ～ (5) (略) 第7章 基本目標・施策大綱 (略) 基本目標1 活力や賑わいを生むまちづくり 1 活力を生む農林業の振興 (略) ほ場整備や農地の集約を進め、農業の生産性を高めま<u>す。また、耕作放棄地の解消や発生防止に努め、美しい農村を保全するとともに、森林資源を有効活用するため、地場産材の活用と豊かな森林環境の保全への取り組みを進めます。</u> 2～3 (略) 基本目標2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり 1 笑顔で暮らせる福祉の充実 (略)

変更後	現 行
<u>障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、福祉サービスや多様なニーズに対応できる相談体制を充実させ、社会参加を促進します。</u> 2 (略) 基本目標 3 安心して住み続けられるまちづくり 1 (略) 2 快適に暮らせる住環境の整備 (略) 安全で快適な暮らしやすい住まいを確保するため、住環境の向上を目的とした個人住宅のリフォーム等を支援します。また、<u>空き家の活用を進めるほか、住宅に困っている人に対して市営住宅を提供します。</u> (略) 3 (略) 4 安全に暮らせる市民生活の確保 (略) 市民が交通事故や犯罪被害に遭わないよう、交通安全対策や防犯対策、消費者保護を充実するとともに、<u>危険を及ぼしかねない空き家の除却や発生抑制を進めます。</u> 基本目標 4 豊かな心と文化を育むまちづくり 1 (略) 2 地域をつくる生涯学習・スポーツ・文化の推進 (略) 基本目標 5 参加と連携を促進するまちづくり 1 市民参加と地域づくりの推進 (略) <u>U I J ターンを促進し、多様な価値観のもとに産業活性化や地域づくりを進め、地域の活力を創造します。</u>	<u>障害者</u> が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、福祉サービスや多様なニーズに対応できる相談体制を充実させ、社会参加を促進します。 2 (略) 基本目標 3 安心して住み続けられるまちづくり 1 (略) 2 快適に暮らせる住環境の整備 (略) 安全で快適な暮らしやすい住まいを確保するため、住環境の向上を目的とした個人住宅のリフォーム等を支援します。また、<u>住宅に困っている人に対して市営住宅を提供します。</u> (略) 3 (略) 4 安全に暮らせる市民生活の確保 (略) 市民が交通事故や犯罪被害に遭わないよう、交通安全対策や防犯対策、消費者保護を充実し ます。 基本目標 4 豊かな心と文化を育むまちづくり 1 (略) 2 地域をつくる生涯学習<u>の推進</u> (略) 基本目標 5 参加と連携を促進するまちづくり 1 市民参加と地域づくりの推進 (略)

変更後	現 行
第 8 章 計画推進にあたっての行政経営方針 (略) 1. <u>政策評価</u> による業務の改善 (略) 2. ～ 3. (略)	第 8 章 計画推進にあたっての行政経営方針 (略) 1. <u>行政評価</u> による業務の改善 (略) 2. ～ 3. (略)